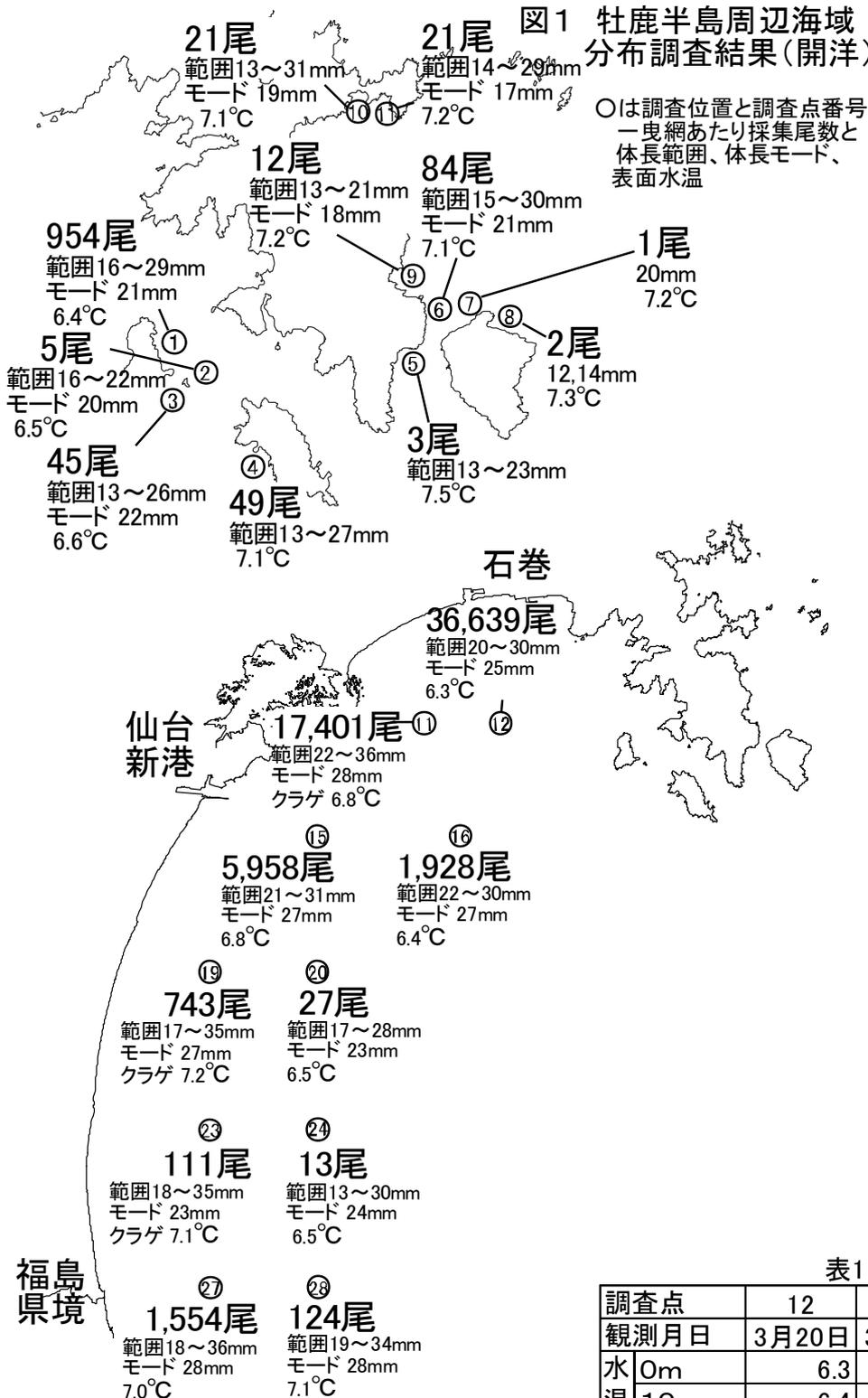


# コウナゴ漁期前調査結果

平成26年3月17日～20日のコウナゴ分布



平成26年3月17日から20日にかけて、県漁業調査指導船「拓洋丸」及び「開洋」により、コウナゴの漁場形成状況を把握するために調査を行いました。

調査方法は仙台湾内14調査点において、網口開口板を使用した中層曳網(水深10m層10分曳)と、牡鹿半島周辺海域11調査点において小型中層曳網(表中層10分曳)を用いて行いました。

牡鹿半島周辺海域では、田代島周辺でコウナゴの入網が見られ、全調査点での平均採集数は109尾となり、平成14年からの平均値40尾よりも多い結果となりました。体長の範囲は12mm～31mmで、モードは18mmとなり、表面水温は6.4°Cから7.5°Cで、調査点での透明度は2.5～7mでした(図1)。

仙台湾海域では、仙台湾奥の石巻湾の調査点で多くの入網が見られ、平均採集数が6,450尾と、過去の平均採集数4,224尾を上回りました。仙台湾での体長は13mm～36mmの範囲で、モードは28mmとなり、表面水温は6.3°C～7.2°Cと昨年同期の調査時(6.9°C～9.6°C)に比べ水温が低い傾向にありました。(図2、表1)。

また、仙台湾海域のSt.11、12で採集されたコウナゴの放射性セシウムは不検出でした。

親潮系冷水が南下しております。今後、平年に比べ水温が低くなることが予想されますので、当センター発行の漁海況情報等を参考として下さい。

表1 仙台湾海域水温

調査点	12	15	19	24	27
観測月日	3月20日	3月20日	3月19日	3月19日	3月19日
水温 0m	6.3	6.8	7.2	6.5	7.2
水温 10m	6.4	6.8	6.8	6.4	6.9
水温 20m	6.5	6.6	6.8	6.5	

図2 仙台湾分布調査結果(拓洋丸)

○は調査位置と調査点番号  
一曳網あたり採集尾数と体長範囲、体長モード、混獲物、表面水温